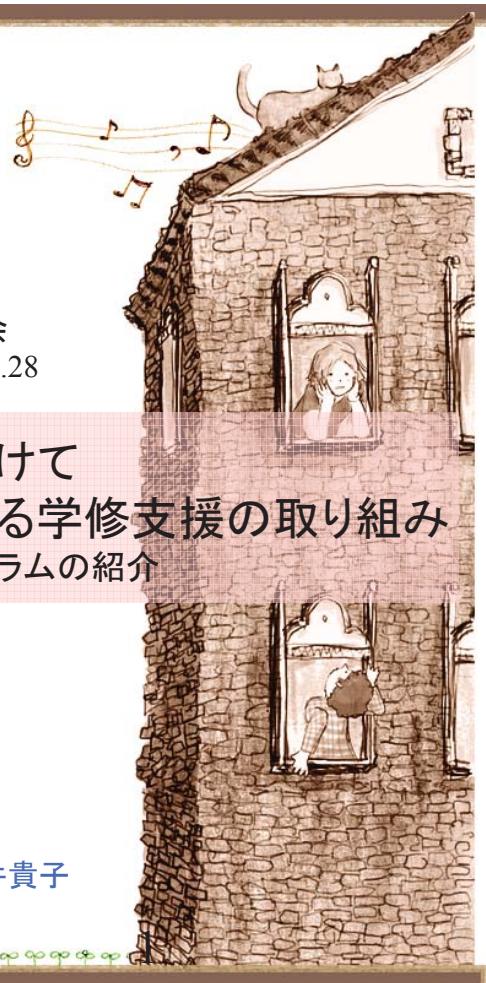


平成26年度 私立短大教務担当者研修会
2014.10.28



短期大学の活性化に向けて 比治山大学短期大学部幼児教育科における学修支援の取り組み スキをスキルにする保育者養成プログラムの紹介

 比治山大学 短期大学部 幼児教育科 講師 土井貴子
HIJIYAMA UNIVERSITY

大学

現代文化学部
言語文化学科
社会臨床心理学科

マスコミュニケーション学科
子ども発達教育学科

健康栄養学部

比治山大学の建学の精神・教育理念
「悠久不滅の生命に向かって精進する」

短期大学部

幼児教育科
総合生活デザイン学科
美術科

幼児教育科の目標

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

目的（学則）

保育技術や知識の修得、感性・創造性・表現力の育成、カウンセリングマインドの習熟、保育観・人間観を確立することを目標にして、優れた保育技術を備え、人として尊敬される人材を育成する

 比治山大学 短期大学部 幼児教育科

3

幼児教育科の教育目標

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

教育する「人」の養成

子どもを知る

- 親や子どもとの信頼関係を維持できるカウンセリングマインドの習熟

保育を知る

- 保育技術・知識の習得
- 感性・創造力・表現力の育成

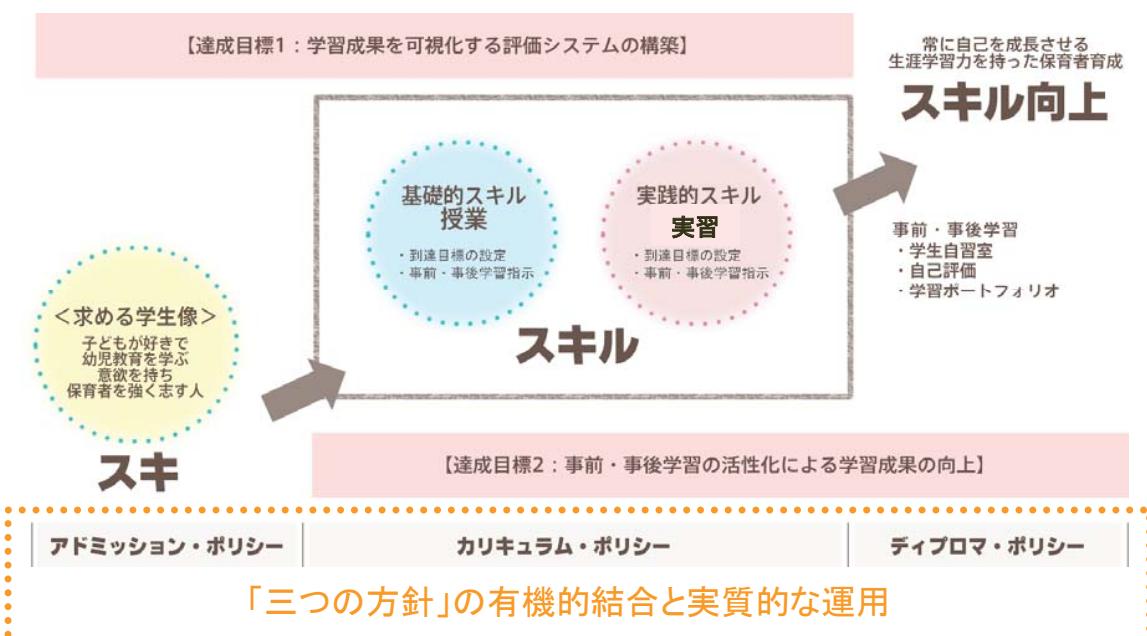
自分を知る

- 保育観・人間観の確立

 比治山大学 短期大学部 幼児教育科

取組の趣旨・目的

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科

アドミッション・ポリシー

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

求める学生像

本学科が求める学生像は、上記の教育目標を理解し、
子どもが好きで幼児教育を学ぶ意欲をもち、保育者を強く志す人です。

知識・理解

高等学校までに履修する教科の内容を幅広く理解している

技能

音楽、体育、美術などの得意分野を有している

思考・
判断・表現

物事を論理的に考察し、自分の主張を述べることができる

態度・
志向性

課外活動、学校行事、ボランティアなどの活動に積極的に参加している

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

カリキュラム・ポリシー

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

社会 大学進学

専門教育科目

教養科目

共通教育科目

比治山ベーシック

- コミュニケーションリテラシー
- キャリア形成
- スタートアップ

高校教育



高尙八子町 幼兒教育科

7

カリキュラム・ポリシー 専門科目

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

専門教育科目

教育実習や卒業研究を含む「保育の実践と研究」を中心として、「保育の本質・目的の理解」「保育の対象の理解」「保育の内容・方法の理解」「保育の基礎技能」の5つの領域で構成し、理論と実践のバランスに配慮するとともに、保育者に求められる資質能力を確実に修得できるように体系的に編成しています。

カリキュラム

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマ用】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム

領域・分野	授業科目名		
保育の本質・目的の理解	教育基礎論	児童家庭福祉	保育原理
	保育者論	社会的養護	保育原理II
	社会福祉	相談援助	
保育の対象の理解	教育心理学	子どもの保健	子どもの食と栄養
	保育の心理学	子どもの保健II・III	家庭支援論
	保育の心理学II		
保育の内容・方法の理解	教育課程論	保育内容(総論)	保育内容(音楽表現I・II)
	教育方法論	保育内容(健康)	保育内容(身体表現I・II)
	臨床相談	保育内容(人間関係)	保育内容(創作表現I・II)
	保育カンファレンス	保育内容(環境)	保育内容(言語表現I・II)
	障がい児保育	保育内容(言葉)	乳児保育
	社会的養護内容	保育内容(表現)	乳児保育II
保育の基礎技能	生活		
	音楽 I・II・III・IV	図画工作 I・II	
	器楽	体育 I・II	
保育の実践と研究	幼稚園教育実習 I・II	保育実習 I・II・III	総合演習
	保育・教職実践演習	保育実習指導 I・II・III	特別研究 I・II
卒業研究			

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

取組の趣旨・目的

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマ用】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム

大学等名 : 比治山大学短期大学部
取組名称 : スキをスキルにする保育者養成プログラム
—短期大学士(幼児教育)の質保証を目指して—

目的 得意分野の育成に努める素地 > 持ち、常に自己研鑽に努め、
生涯学習力【態度・志向性】 自己を成長させる保育者養成

建学の精神・教育目標・人材養成目的

学習到達度指標(12のスキル)の策定

総合的な学習経験と創造的思考力 修士力	知識・理解	子どもの心身の健康や発達について理解する	保育の本質と目的について理解する	保育者の役割について理解する
	技能	子ども一人一人の発達段階や心の動きに合わせて援助ができる	一人一人の子どもや保護者に対する基礎的な相談・援助ができる	保育の基礎技能を豊かな表現力で指導できる
	思考・判断・表現	保育の記録を通して、子ども一人一人の育ちをとらえることができる	子どもの生活に即した保育を構想することができる	自らの保育の過程を振り返り、自己評価できる
	態度・志向性	子どもの最善の利益を尊重する	人と信頼関係を築き、相互に協力して共に育ちあおうとする	保護者としての社会的責任と自己表現の喜びを持つ

子どもを知る

保育を知る

自分を知る

教育目標(人材養成目的)

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

10

保育者の資質に関する項目の平均点(得点順)

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマ別】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム

項目	全体	高校生	幼稚園園長	保育園園長	幼稚園保護者	保育園保護者
子どもへ愛情を持ってかかわることができる	526.6	113.6	37.6	136.6	124.6	116.6
明るく人と接することができる	4.93	4.86	5.00	4.96	4.90	4.95
思いやりのある優しい性格である	4.77	4.75	5.00	4.91	4.68	4.65
人とのコミュニケーション能力に優れている	4.75	4.68	4.88	4.86	4.70	4.70
必要なマナーを守って生活することができる	4.66	4.61	4.78	4.79	4.55	4.62
健康で、体力がある	4.64	4.69	4.76	4.80	4.50	4.52
礼儀正しく人と接することができる	4.63	4.54	4.84	4.90	4.56	4.42
社会への順応性・適応性がある	4.62	4.63	4.78	4.84	4.44	4.50
敬語や謙譲語などを適切に使うことができる	4.44	4.54	4.08	4.64	4.19	4.29
保育の専門知識を有している	4.44	4.31	4.65	4.62	4.27	4.46
幅広い教養と一般常識を有している	4.30	4.04	4.59	4.63	4.13	4.25
スポーツ、クリエーションなどの能力に優れている	4.02	4.05	4.00	3.79	4.16	4.12
劇や紙芝居などを演じる技能に優れている	3.93	4.06	4.00	3.82	3.84	3.99
絵画制作の技能に優れている	3.92	3.91	4.00	3.83	3.92	4.00
ピアノ演奏の技能に優れている	3.89	3.87	4.22	3.97	3.74	3.87
幼稚園免許と保育士資格の両方を有している	3.46	3.89	3.78	4.00	3.06	2.71
幼稚園教諭一種免許状以上を有している	2.98	3.33	2.92	2.81	3.14	2.71
コンピュータ等情報処理の能力に優れている	2.97	3.12	3.46	3.70	2.40	2.41
4年間の大学教育を受けている	2.58	2.56	2.88	2.81	2.55	2.27
大学院の修士課程以上の学歴を持っている	2.17	2.43	2.03	2.07	2.28	1.97

注:「強くそう思う」5点、「少しうるうる」4点、「どちらともいえない」3点、「あまり思わない」2点、「ぜんぜんそう思わない」1点として平均を求めた。

(比治山大学短期大学部幼児教育科『2006年度現場が求める保育者の資質に関する調査報告書』、2007年)

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

学習到達度指標の下位項目

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマ別】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム

学習到達目標	下位項目	出所	
①保育の本質と目的について理解する	ソーシャルワークの構造理解	保育士研修体系	
	保育実践・思想・発達論と現代の保育	幼稚園研修図	
	子どもの心身の健康や発達について理解する	保育士研修体系	
③保育者の役割について理解する	子どもの発達・保健・安全・食事などの理解	幼稚園研修図	
	子どもの発達理論・人権・障害児保育・健康と安全	幼稚園研修図	
	教員の業務と研修・望ましい教師の姿	幼稚園研修図	
①子ども一人一人の生活や発達過程に応じた援助ができる	気にならぬ子どもや障害のある子への対応・応急手当等緊急時の対応	保育士研修体系	
	特別支援教育	幼稚園研修図	
	働きかけ(指導・援助)力	社会人基礎力	
②保育の基礎技能を豊かな表現力で指導できる	基礎的・相談・援助技術の理解・センス・感性・創造力	保育士研修体系	
	基本的な保育技術の習得・各種の教材理解	幼稚園研修図	
	創造力・発信力	社会人基礎力	
③一人一人の保護者に対する基礎的な相談・援助ができる	保護者との協力	保育士研修体系	
	保護者とのコミュニケーション・保護者支援	幼稚園研修図	
	①子どもの生活に即した保育を構想することができる	保育計画・指導計画に基づく保育実践・指導計画の立案	保育士研修体系
②思考・判断表現	教育要領と指導計画	幼稚園研修図	
	計画力	社会人基礎力	
	②保育の記録を通して、子ども一人一人の育ちをとらえることができる	觀察力・記録のとり方・いかし方	保育士研修体系
③自らの保育の過程を振り返り、自己評価できる	保育記録の理解と作成・子どもの育ちと記録のとり方	幼稚園研修図	
	③自らの保育の過程を振り返り、自己評価できる	保育のアセスメント	保育士研修体系
	自己点検・自己評価と研修	幼稚園研修図	
④⑤態度・志向性	課題発見力	社会人基礎力	
	①子どもの最善の利益を尊重する	子どもの最善の利益の尊重・光達保障・プライバシーの保護・愛情・倫理観・道徳性	保育士研修体系
	②人と信頼関係を築き、相互に協力して共に育ちあうとする	チームワーク・共感性・協調性・柔軟性・自制心・コミュニケーション	保育士研修体系
③④⑤⑥	地域社会との交流・幼保小の連携	幼稚園研修図	
	協働力・柔軟性・状況判断力	社会人基礎力	
	社会人としてのマナー・生活習慣と社会的マナー・専門職としての責務・達成意欲・行動力・情熱・主体性	保育士研修体系	
	主体性・実行力・規律性・ストレスコントロール力	社会人基礎力	

参考資料

「保育者の資質向上研修研修図」(全日本私立幼稚園連合会、平成18年)

「保育士の研修体系は「保育士の階層別に求められる専門性」」(全国保育士会「保育士の研修体系検討特別委員会、平成19年)

「社会人基礎力」(経済産業省、平成18年)

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

学士力と学力の構成要素比較表

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム

学士力(中教審、H20.12.24)		旧学習指導要領 (H14~)	新学習指導要領 (H23~)	社会人キャリア力
【総合的な学習経験と創造的思考力※】	【知識・理解】	(1)多文化・異文化に関する知識の理解	【知識・理解】	時事問題 社会マナー
		(2)人類の文化、社会と自然に関する知識の理解		
	【汎用的技能】	(1)コミュニケーション・スキル	【技能・表現】	発信力、傾聴力、日本語力 計算力
		(2)数量的スキル		
		(3)情報リテラシー	【思考・判断】	課題発見力、創造力 計画力
		(4)論理的思考力		
		(5)問題解決力		
	【態度・志向性】	(1)自己管理力	【関心・意欲・態度】	実行力
		(2)チームワーク、リーダーシップ		柔軟性、情況把握力、ストレスコントロール力
		(3)倫理観		規律性
		(4)市民としての社会的責任		働きかけ力
		(5)生涯学習力		主体性

※これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力

 比治山大学 短期大学部 幼児教育科

取組の達成目標①

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム

学習成果を可視化する評価システムの構築(学習成果の設定)

組織的な学習成果の評価

- 成績評価の妥当性
- 授業の関連性の確保
- ディプロマ・ポリシーと授業との整合性
- シラバスの常時見直し等

【評価方法】

- 指標1:入学者に対する学習に関する実態調査
- 指標2:到達度評価及び学生の自己評価
- 指標3:実習評価及び学生の自己評価
- 指標4:GPA評価



教員の評価による学習成果＝学生の自己評価

 比治山大学 短期大学部 幼児教育科

カリキュラムマップ(一部)

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマ用】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム

領域分野	授業科目名	授業方法	到達目標	学習到達度指標									
				【知識・理解】		【技能】		【思考・判断・表現】		【態度・志向性】			
				子ども	保育	自分	子ども	保育	自分	子ども	保育	自分	子ども
専 保育の本質・目的の理解	教育基礎論	講義	①教育に関する諸理論、歴史、制度を理解し、基本的知識を得る。②教わる側から教える側へと移行するなかで教育の本質と目的は何かを考えることができる。③教育に関心を持ち、積極的に授業に参加し、課題に取り組もうとしている。	○							○		
	保育者論	講義	①保育者の役割について理解する。②教わる側から教える側へと移行するなかで保育の本質と目的は何かを考え、表現することができる。③主体的に授業に参加し、積極的に課題に取り組もうとしている。	○	○							○	
	社会福祉	講義	①「社会福祉」の理念、仕組み、法律、制度などについて理解する。②福利制度の利用について、関係機関と連携する方法を身につける③福利的援助を必要とする状況を理解し、適切な福祉サービスを紹介する力を身につける。④社会福祉士に対する関心を持ち、以後の課題について考える。	○							○		
	相談援助	演習	①社会福祉援助技術全般の理解と実践的な知識を理解する。②事例の精読を通して、育児支援と地域福祉に関連した技術を、とりわけ「ケーワークの原則」を身につける	○			○						
	児童家庭福祉	講義	①社会経渃情勢の変容、家庭の質の変容等を理解し、児童福祉の意義とその歴史的展開を展望する。②児童福祉に関する法制度とその実施体制や施策を学び、現状と課題を把握できるようにする。	○									
	保育原理	講義	①保育の諸理論・方法などについて理解する②自分なりの保育観・人間観を振り返り、自己評価できる	○							○		
	保育原理Ⅱ	講義	①保育の諸理論・方法などについて理解する②保育の現状と課題について考察する	○							○		
	社会的養護	講義	①児童養護の歴史や現状を学び、理解する。②支援の方法やその考え方について学ぶ。③理難や問題点について考え、発言し	○									

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

学習成果の設定

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマ用】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム

学習成果を可視化する評価システムの構築(学習成果の設定)

科目名	単位数	評価指標(カリキュラムマップ)										
		課題別指標	知識・理解	技能	思考・判断・表現	態度・志向性	課題別指標	知識・理解	技能	思考・判断・表現	態度・志向性	課題別指標
○保育原理	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○保育実習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○社会的養護	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○児童家庭福祉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○社会福祉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○保育者論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○教育基礎論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○相談援助	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○保育の本質・目的の理解	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- 教育目標との関連
- 到達目標
- 成績評価基準
- 学習上(予習・復習)のアドバイス

科目名	担当者	単位数	開講年次	開講学期	区分
保育原理	湯地 宏樹	2	1	2010年度	前
概 要					この授業は、真の保育とは何か?本当に何が大切か?などと並んで、VTR「保育所の一日」など、現状の保育を実感する。一人の入園として、他の児童とどう接するかなど、人間観を確立する。
教育目標との関連					専門科目【保育の本質・目的の理解】の保育の過程を振り返る。
到達目標					S:保育の諸理論を十分理解する。 A:保育の諸理論を理解する。 B:保育の諸理論を理解する。 C:保育の諸理論や日々の保育を理解する。
評価方法					定期試験(×10点)。 ●保育日誌・省察(10点)。 ●レポート「わたしの保育」 ●授業への参加状況
備 考					授業はおもにプレゼンテーション形式で行われる。 ●各回ごとにについて、テキストで読み進められる。 ●各回ごとにについて、テキストで読み進められる。
チケット・教材・経費等					●教材:「保育所保育指針解説」「保育小法」2009 ●費用:なし ●参考書:なし
関連リンク					●各回ごとにについて、テキストで読み進められる。 ●各回ごとにについて、テキストで読み進められる。 ●各回ごとにについて、テキストで読み進められる。

学習到達度指標との関係をカリキュラム・マップ及びシラバスに明示

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

学習成果を可視化する学生情報システム

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

Hillwayシステム(学生情報システム)▼

Hillwayにようこそ

北海山大学・比治山大学短期大学部
池地 宏樹さん: 初回ログイン 2010/07/09 14:50

ホーム | メール設定 | サイトマップ | ログアウト

個人情報 | 認識閲覧 | 学生支援 | アンケート

学生ファイル | WEBテクノ | 授業管理 | 勤務管理 | 成績管理 | 狱懲管理 | 講義管理 | 個人情報

● 学習到達度指標参照

学籍番号: 201100001 学生氏名: 広島 花子

	子どもを知る	保護者を知る	自分を知る	学能力+人能力	社会人キャリア力
知識・理解	教員 → 教員 あなた → あなた	あなた → あなた			
技術	教員 → 教員 あなた → あなた	あなた → あなた			
思考・判断・表現	教員 → 教員 あなた → あなた	あなた → あなた			
態度・志向性	教員 → 教員 あなた → あなた	あなた → あなた			

● 指標小欄
2010/12/04 広島 花子(学生)
授業に真面目なことができたが、試験の点数はあまりよくなかった。
もっと勉強する必要があったと思います。

2010/12/06 大庭 大輔(教員)
試験の点数も気になると思いますが、自分がちゃんと理解できていれば問題ないと思います。
この調子でがんばってください。

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

取組の達成目標②

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

学習成果を可視化する評価システムの構築(学習成果の設定)

【評価方法】

- 学生の意欲喚起と十分な学習時間の確保
- 得意・不得意のスキルの確認
- 学習計画に役立てる
- 主体的な学習スタイルの形成

指標1:「バーチャル保育室」の利用頻度

指標2:映像のデータベース化件数

指標3:映像教材・機器の使用(貸出)件数

指標4:教員の教育コンテンツのUP件数

指標5:成績評価(秀・優・良・可・不可)

指標6:到達目標・学習時間等学生の自己評価

指標7:授業に関するアンケート調査



学習成果の向上

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

「バーチャル保育室」の活用

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

学習自習室「バーチャル保育室」の活用



ロールプレイング（園児と保育者）



ロールプレイング（保護者と保育者）



保育シミュレーション（模擬保育）



授業（人間関係）



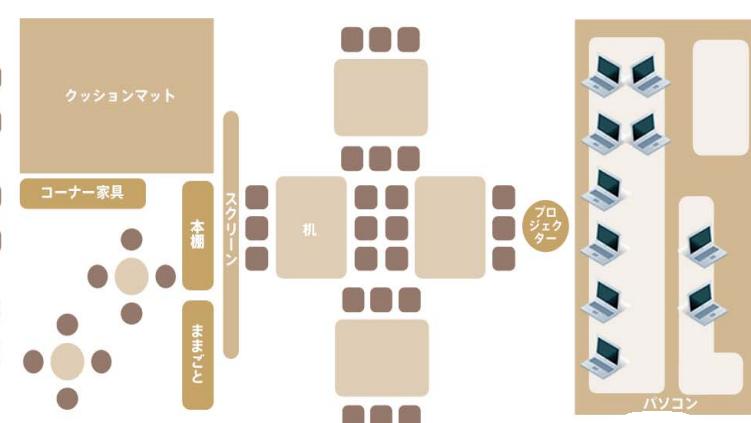
授業（言語表現）

子どもの内面の理解、相談・援助、基礎技能などの
スキルの向上

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

学生自習室「バーチャル保育室」

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科

カンファレンスルームの活用

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム

学習成果を可視化する評価システムの構築(学習成果の設定)

映像(動画や静止画)の記録・データベース化

2005年 1月 2月 3月 4月 5月 6月
2006年 1月 2月 3月 4月 5月 6月
2007年 1月 2月 3月 4月 5月 6月
2008年 1月 2月 3月 4月 5月 6月
2009年 1月 2月 3月 4月 5月 6月
2010年 1月 2月 3月 4月 5月 6月

13:00 13:22 13:24

- 学生自習室「バーチャル保育室」
- 授業・実習
- 学外研究発表
- ボランティア活動
- 市販の映像教材 …などの映像

授業担当者による教育コンテンツなどの提供

Mon 月曜日
▶ 1限 (保育原理)
▶ 2限 (保育内容(人間関係))
Tue 火曜日
Wed 水曜日

月曜 1限 1A1024 保育原理 湯地 宏樹

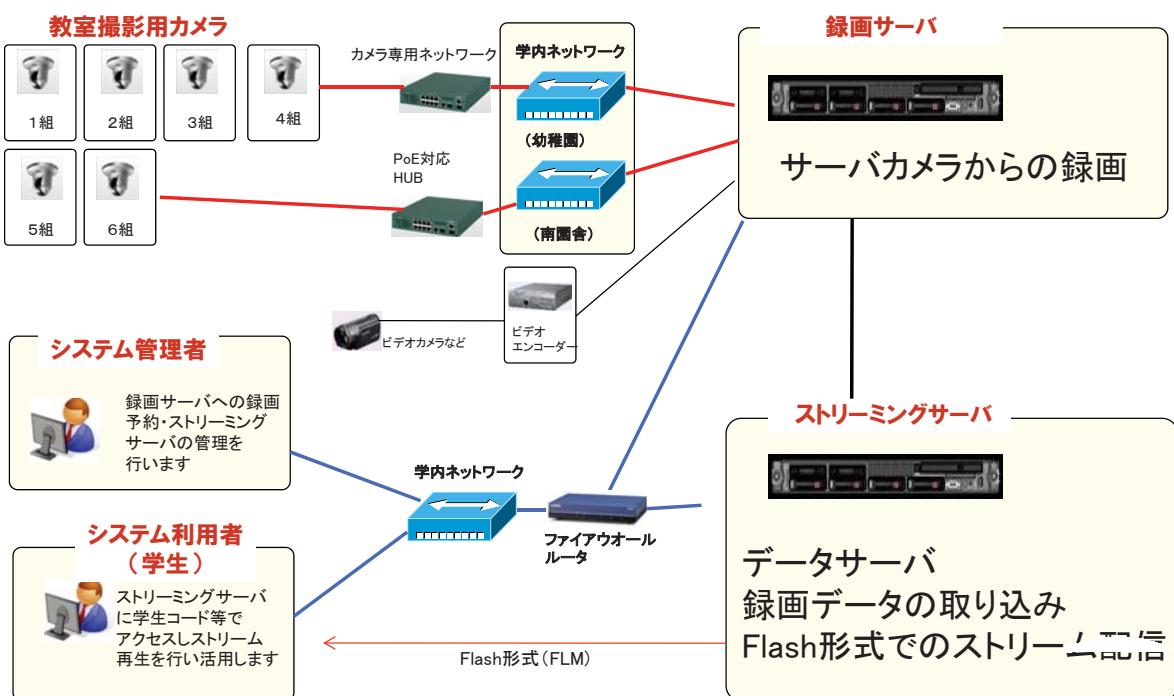
検索条件: 全て対象
並び順: 授業実施日順 降順
検索日: 2010/07/05(月)
検索条件: タイトル
検索結果: 検索結果数: 1件
作成者: 湯地 宏樹
説明: 前期の授業の全資料です。

保育の記録、保育の構想、保育の過程の振り返り・自己評価などのスキルの向上

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

教育実習映像収録装置

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科

学習ポートフォリオの活用

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム

- ・学習成果の可視化
- ・授業の到達目標の提示

ようきょう 学習ポートフォリオ 2014年



学生番号	名前

比治山大学短期大学部 幼児教育科

- ・教員による自己評価の確認
- ・問題点/課題などへの指摘
- ・次のセメスター /実習に
向けてのアドバイス

授業科目名 授業 方法	単位数	【知識・理解】			【技術】			【思考・判断・表現】			【態度・思考性】			自己評価	成績
		子ども	保育	自分	子ども	保育	自分	子ども	保育	自分	子ども	保育	自分		
教育基礎論 講義	2	2	2	2										2×	
社会福祉 講義	2	2	2	2										2×	
保育の心理学 講義	2	2	2	2											
子どもの保健 講義	2	2	2	2											
保育内容(言葉) 演習	1	1	1	1											
保育内容(表現) 演習	1							1×	1×	1×					
保育内容(絵画) 演習	1							1*	1*	1*					
音楽 1 图画工作 1 体育 1	1							1*	1*	1*					
1セメスター合計 基準値															
さくら三分野評 基準値															

1セメスター合計表

基準値

1セメスター合計
基準値

1セメスター合計
基準値

学習振り返りシート

成績からみる得意分野と課題

HUICAN(学習到達度測定)や各教科の成績から、自分自身振り返ってみましょう。

得意分野(長所)

課題(弱点)

アセスメントからみる得意分野と課題

自己登録レポートや社会人キャリア力の結果を見て、自分自身振り返ってみましょう。

得意分野(長所)

課題(弱点)

省察

得意分野(長所)をさらに伸ばすには

○

提出期限 月 日 提出場所
所見欄

学習ポートフォリオの活用

比治山大学 短期大学部 幼児

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム

幼稚園教育要領「第2章 ねらい及び方針」

内 容	領 域
進んで戸外で遊び	健康③
身近な物を大切にする。	表現⑥
自分で考え、自分で行動する。	人間②
自分でできることは自分でできる。	人間③
健康な生活リズムを身に付ける。	健康⑥
先生や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。	健康⑤
生活の中で必要な言葉が分かって使う。	言葉⑤
遊びもって日常のあいさつをする。	言葉⑥
幼稚園内外の行事において園庭に親しむ。	表現①
いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。	健康②
様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。	健康④
いろいろな素材に親しみ、工夫して遊び。	表現⑤
生活中で言葉の楽しさや奥深さに気付く。	言葉⑦
友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ。	人間⑩
日常生活の中で数量や形などに興味をもつ。	表現⑧
先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。	人間①

領 域 分 類	授業科目名 授業 方法	到達目標	学習達成度指標											
			【知識・理解】			【技術】			【思考・判断・表現】			【態度・志向性】		
子ども	保育	自分	子ども	保育	自分	子ども	保育	自分	子ども	保育	自分	子ども	保育	自分
教育基礎論 講義		①教育に関する諸理論、歴史、制度を理解し、基本的知識を得る。②教育の目的、教育の過程、教育の方法、保育の目的、保育の過程を何とかえらぶことができる。③教育に関する教科書、教材、教科書の収集について理解する。	○								○			
保育者論 講義		①保育の実践について理解する。②教わる側から教える側として行なうなどで保育の本質とは何をを考え、表現する能力をもつ。③保育の本質とは何か、保育の実践について理解する。	○	○	○									○
社会福祉 講義		①社会福祉の理念を理解する。在組み、法規、制度などについて理解する。②社会制度の利用について、問題意識と連携する方法を理解する。③社会福祉の実践について理解する。④社会福祉の実践でよく使われる言葉を理解する。⑤社会福祉の会員に対する心をもち、会員の問題について考える。	○											○
相談援助 演習	演習	①社会福祉実践技術を全般的に理解し実践的な知識を理解する。②事例的・情事的を通じて、背景や対象者や地盤等に関連した技術を理解する。③社会的・精神的・家庭的・社会的・組織的・職業的・文化的・宗教的・民族的・言語的・性別などの多様な要素を理解し、児童福祉の意義とその歴史的発展を理解する。②児童福祉に関する法規と実践体制で専門性を学ぶ。児童の問題を把握できること。	○											
児童家庭福祉 講義		①社会的・精神的・家庭的・社会的・組織的・職業的・文化的・宗教的・民族的・言語的・性別などの多様な要素を理解し、児童福祉の意義とその歴史的発展を理解する。②児童福祉に関する法規と実践体制で専門性を学ぶ。児童の問題を把握できること。	○											
保育原理 講義		①保育の理論論述・方法などをについて理解する②自分の保育実践や人間観を振り返り、自己評価できる。	○											○
保育原理Ⅱ 講義		①保育の理論論述・方法などをについて理解する②保育の現状と課題について理解する。③児童の発達と保育の実践について理解する。②支障の方やその考え方について学ぶ。③課題や問題点について考え、参考にしていく。	○											
社会的実践 講義		①社会的実践の意義とその歴史的発展を理解する。②社会的実践の現状と課題について理解する。③社会的実践の現状と課題について理解する。	○											

実習評価表<自己評価用>		
学年	学生番号	名前
幼稚園教諭(准教諭)(准教諭)		
年齢	日	次第
到達目標(評価の基準)		
1 子どもの運動観察、身体の柔軟性や筋力などを理解している。		
2 保育の現状について理解する。保育の現状を認識し、子どもの現状について理解している。		
3 保育の問題について理解する。子どもの問題を理解する。		
4 一人一人の子どもに対して個別的保育を実践できる。		
5 課題達成・指導能力を有する。		
6 子どもの運動観察、身体の柔軟性、筋力の現状について理解する。		

学習振り返りシート		
成績からみる得意分野と課題		
HUICAN(学習到達度測定)や各教科の成績から、自分自身振り返ってみましょう。		
得意分野(長所)		
課題(弱点)		
アセスメントからみる得意分野と課題		
自己登録レポートや社会人キャリア力の結果を見て、自分自身振り返ってみましょう。		
得意分野(長所)		
課題(弱点)		
反省		
得意分野(長所)をさらに伸ばすには		

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

取り組み

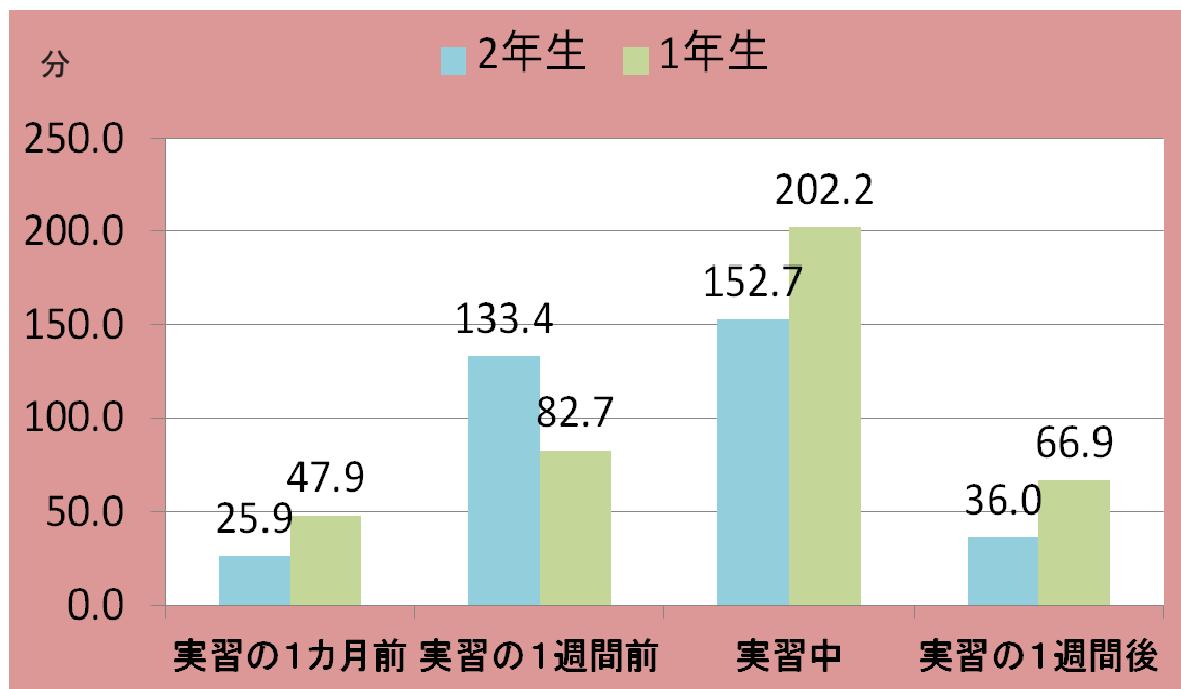
平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

- 学習時間・学習時間と学業成績の関係
- バーチャル保育室の利用状況
- 学習アドバイザーへの相談
- 映像データベース化
- 教材の使用

 比治山大学 短期大学部 幼児教育科

実習前後の学習時間

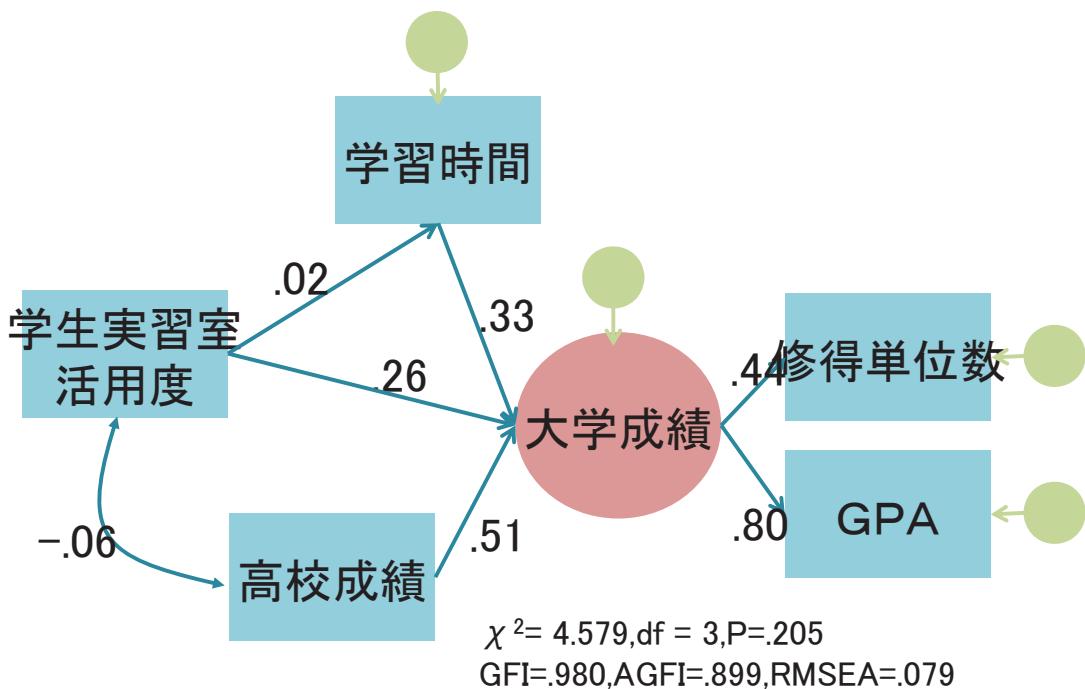
平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム



 比治山大学 短期大学部 幼児教育科

学習時間と学業成績との関係

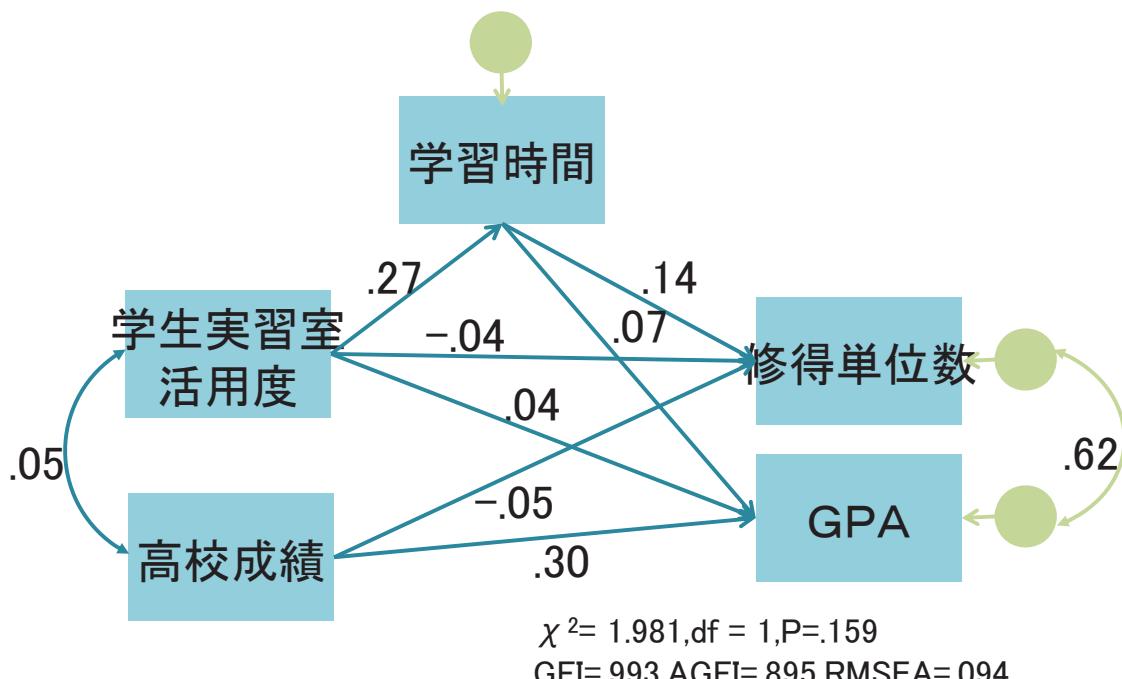
平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科

学習時間と学業成績との関係

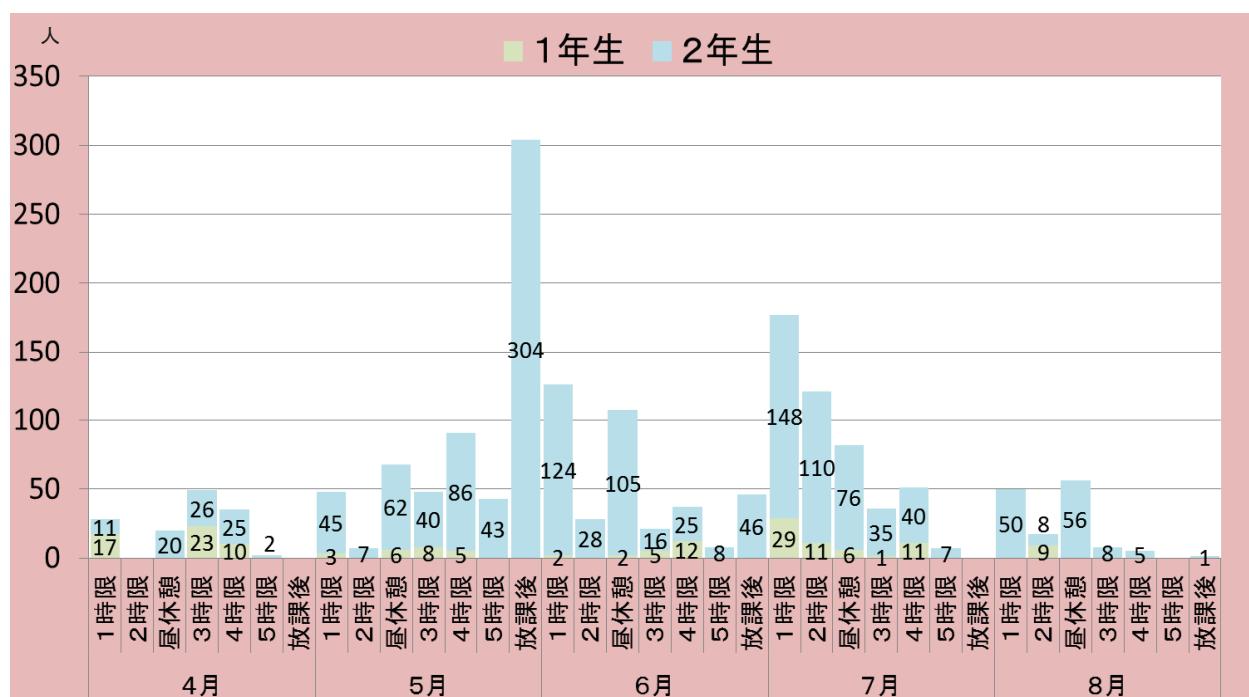
平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科

バーチャル保育室利用状況(時限毎)

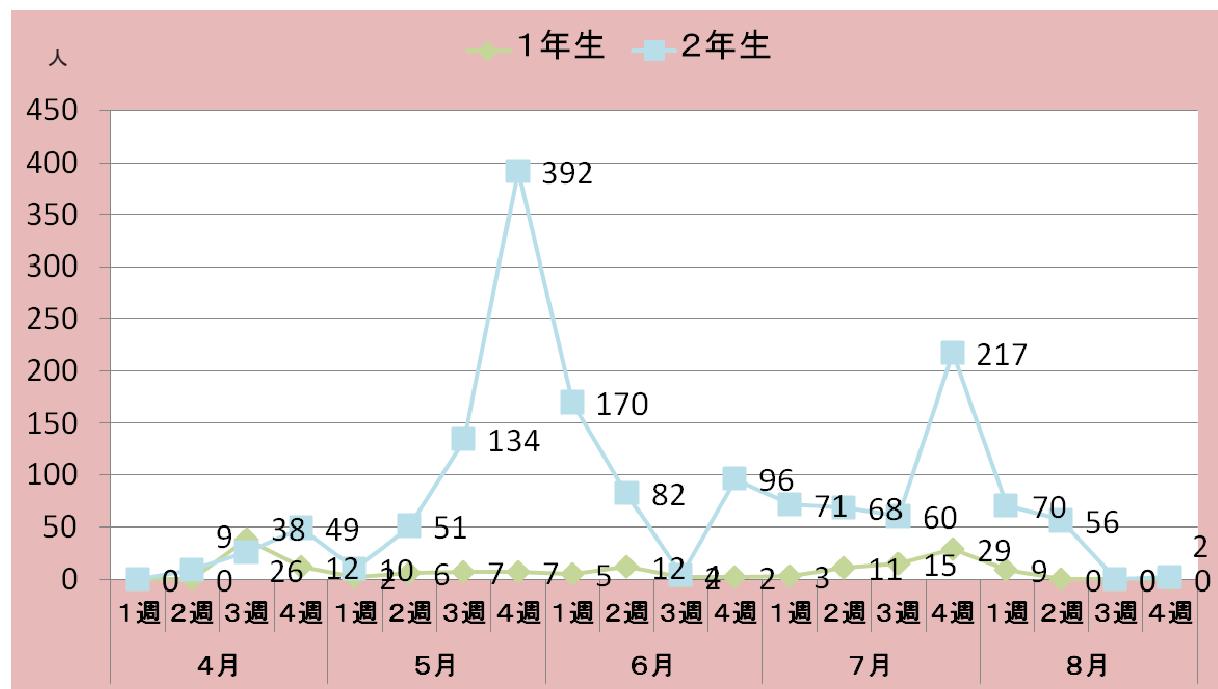
平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科

バーチャル保育室利用状況(週毎)

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科

バーチャル保育室利用に関する調査

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム

Q 実習準備で学生自習室を活用したか(人)

	1年生	2年生
とても活用した	11	61
まあまあ活用した	38	34
あまり活用していない	41	1
全然活用していない	29	0

Wilcoxon検定:p<.001

Q 学生自習室は学習に役に立っていますか

	1年生	2年生
とても役に立っている	37	75
まあまあ役立つ	68	16
あまり役立たない	6	0
全然役立たない	5	0

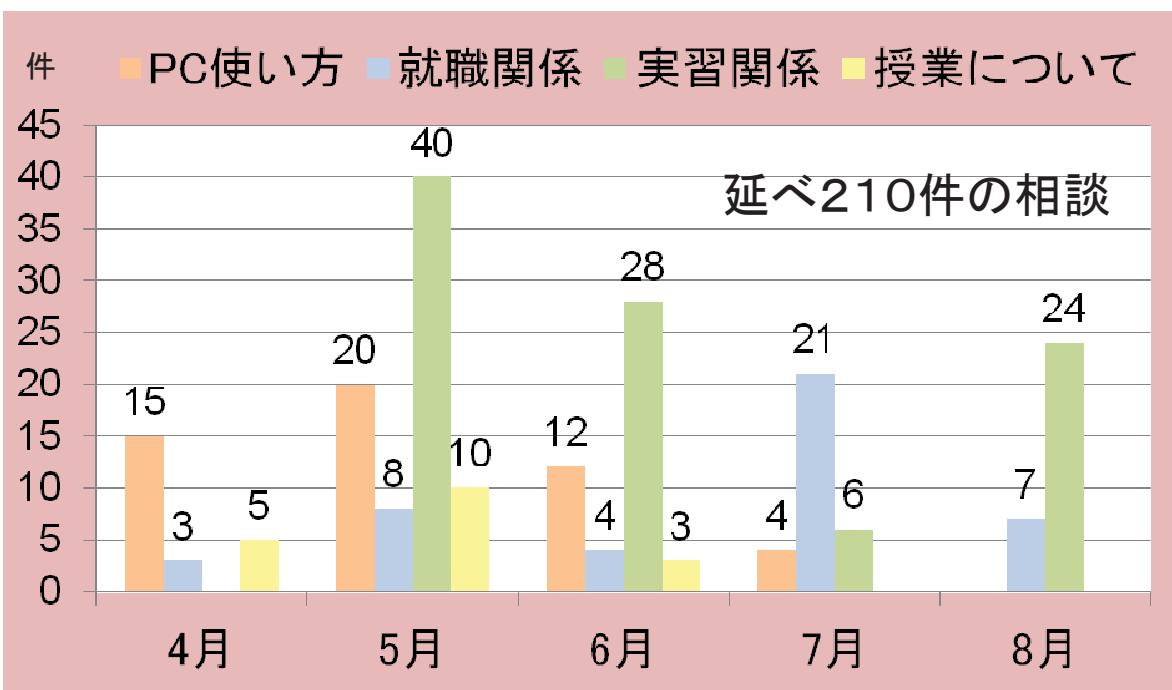
Wilcoxon検定:p<.001

- ・学習アドバイザーに相談できてよかったです。(39)
- ・(土日、20時以降など)学生自習室「バーチャル保育室」の利用時間を増やしてほしい(10)。
- ・3階まで上るのは大変だった(7)
- ・備品が充実していて使いやすかった(5)
- ・使いやすかった(4)
- ・もっと広くしてほしい(3)。
- ・教室の清掃、片付けをしてより快適に使えるようにしたい。
- ・(フェルト、CDデッキ、絵本、机、いす、マネキンなど)教材・備品を増やしてほしいなど

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

学習アドバイザーへの相談件数

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(大学教育推進プログラム)
スキをスキルにする保育者養成プログラム



比治山大学 短期大学部 幼児教育科

映像のデータベース化・視聴ログ件数

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム

月	ログイン数	視聴時間
6月	31	9:23:44
7月	14	5:39:57
8月	4	0:11:46
9月	8	2:17:05
10月	5	0:44:47
11月	69	14:48:24
計	131	33:05:43



録画時間
約7,200分

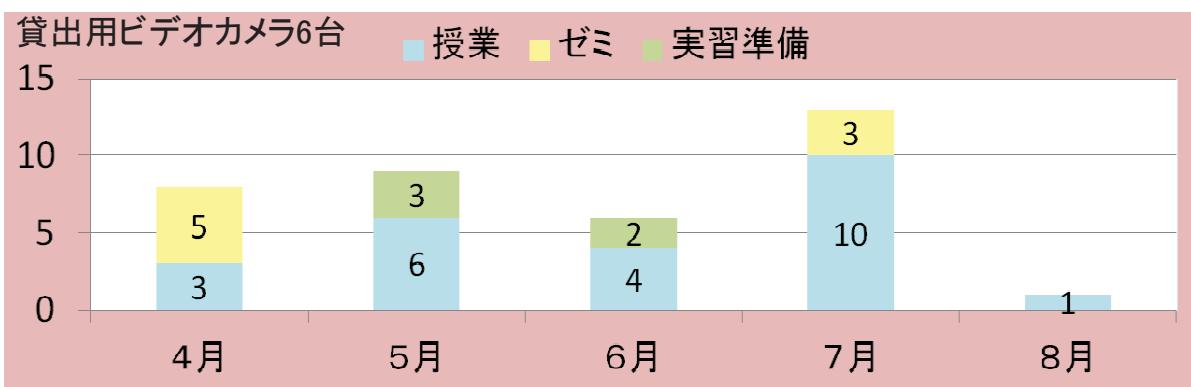
2011年5月～8月31日

5日間×60分×2(午前・午後)×6クラス×2(1・2組)

比治山大学 短期大学部 幼児教育科

映像教材・機器・図書の使用(貸出)件数

平成22年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】（大学教育推進プログラム）
スキをスキルにする保育者養成プログラム



絵本372冊
CD22枚
紙芝居55巻

絵本貸出し冊数
111冊
(2年生103冊, 1年生8冊)

2011年4月～8月31日

比治山大学 短期大学部 幼児教育科